



第2章

白糠町の現況

1. 都市形成の経緯
2. 白糠町の位置等
3. 白糠町の現状



白糠町の現況

1 都市形成の経緯

本町は、道東の中核都市釧路市（旧釧路市、旧阿寒町、旧音別町）に東西を挟まれ、南は太平洋に面し、市街地は北部丘陵地等を源とする茶路川、庶路川、和天別川などにより形成された平野部にあります。

開拓の歴史は寛永9年に白糠場所が開設され、寛政12年に八王子千人同心の入植により本格化しました。安政4年には北海道初の石炭採掘が行われ、林業・水産業等と共に基幹産業として昭和30年代まで発展してきました。農業は寒冷地のため畑作から酪農経営への転換が図られ、現在では農業算出額の大半を占めています。

本町の都市計画は昭和27年に都市計画区域を定めたことに始まり、昭和43年に新都市計画法が制定されたのを機に、昭和49年に都市計画区域の変更、用途地域の決定がなされ、都市のベースが定められました。土地利用では炭鉱閉山の受け皿として、釧路市にまたがる釧路白糠工業団地が造成され、本町用途地域の6割以上が工業系で占められています。また、道路、公園、墓園、ごみ焼却場、火葬場などの施設も順次定められ、平成に入り、公共下水道の決定により現在まで事業が進められています。

本町はこれまで自然環境との調和に配慮しながらまちづくりを進めてきました。

都市化を進める契機となった昭和50年代の企業立地とそれと並行して供給が進んだ宅地の増加により発展し、昭和60年代から平成初期にかけ公共施設の整備も進み、全国初の広告景観優良地区に指定された「ハミングロード」など、都市としての顔づくりも進みましたが、一方で人口の減少傾向が顕在化してきました。

前回、平成20年に策定された「白糠町都市計画マスタープラン」は、地方分権化に伴う社会情勢の動きのなか、住民との協働や個性あるまちづくりのあり方が求められました。また、人口増加をめざし都市再生を視点とした都市政策の大きな変革を背景として策定されました。

しかし、日本は初めて人口減少の社会を迎えようとしています。人口減少によりすでに大都市圏でみられる郊外部の高齢化やスポンジ化、これまで整備してきたインフラの維持管理問題、東日本大震災を始めとする豪雨・土砂災害などの自然災害への不安、さらには社会保障や子育て・働き方への不安など、人々の暮らしや価値観は多様化するなか、安全・安心を優先したまちづくりの方向性をより明確に示すことが求められています。

これら課題に対して第8次白糠町総合計画では、第7次計画と同じ、次の3つを柱に取り組むこととしております。

※まちづくりの重要視点

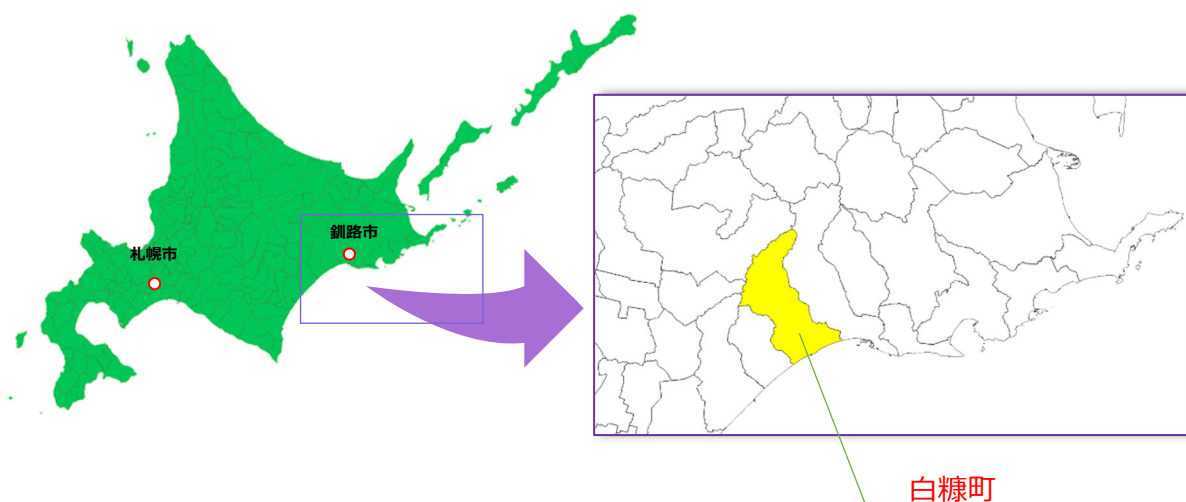
- ・ 第一次産業の再興と振興
- ・ 町民の健康づくり
- ・ 教育（意識改革）

2 白糠町の位置等

2-1 位置

白糠町は北海道の東部、釧路総合振興局管内の西南部に位置する町です。東西は釧路市、北は十勝総合振興局管内の足寄町、本別町、浦幌町に隣接し、町南部は太平洋に面しています。総面積は、773.13 k^m²と広大で、東西 38.6 k^m、南北 50.5 k^mと南北に長い地形となっています。

■位置：東 東経 144 度 13 分 42 秒／南 北緯 42 度 55 分 12 秒
西 東経 143 度 45 分 17 秒／北 北緯 43 度 22 分 30 秒



2-2 地勢等

北部にある阿寒富士を頂点として、ウコタキヌブリなど山地と丘陵地が連なり、起伏の多い傾斜線から沿岸にかけて平野状となっています。茶路川、庶路川、和天別川の3河川が町を流れ、河川沿いに市街地が形成されています。

南部の太平洋岸に沿って、北海道の東西をつなぐ国道38号（3・2・1 庶路大通、3・4・3 大通）、JR 根室本線があり、人口の多くは沿岸に集中しています。高速道路（道東自動車道）は釧路市まで開通し、町内には白糠と庶路に2つのインターチェンジを有しています。また、釧路空港からも車で約25分と飛行機によるアクセスにも便利です。

3 白糠町の現状

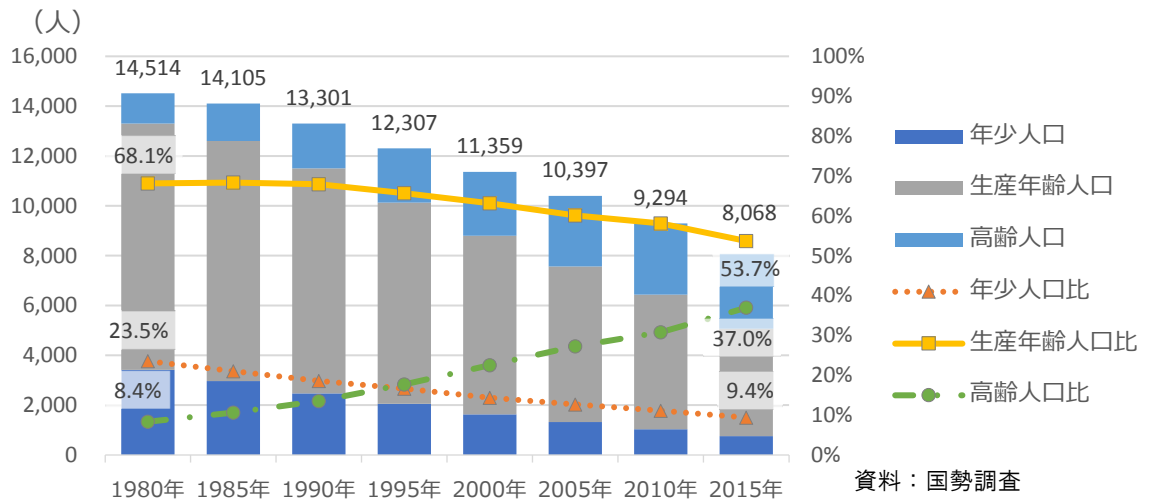
本町の現状を統計情報等（産業等は巻末の資料編を参照）から概観します。

3-1 人口等の推移

（1）人口

本町の総人口は、3階層別人口の推移をみると、減り続けています。年齢層の構成比で見ると、高齢人口（65歳以上）の占める割合のみが上昇し（8.4%から37.0%へ）、高齢化の傾向が徐々に顕在化してきています。

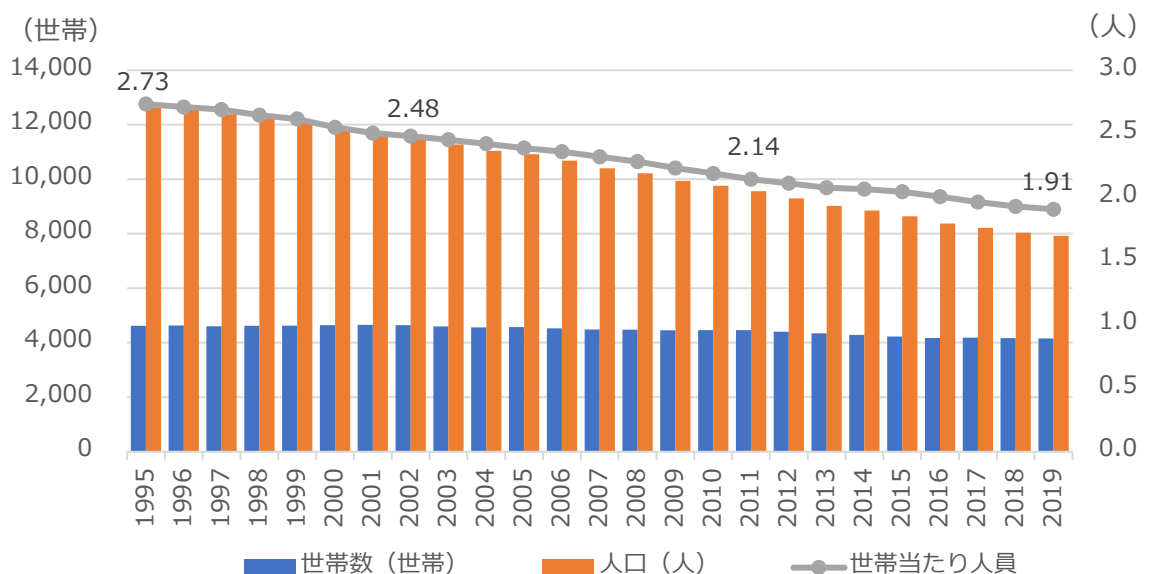
白糠町 3階層別人口の推移（1980年～2015年）



（2）世帯数の推移

住民基本台帳による本町の世帯数は、1995年の4,618世帯から2019年には4,154世帯に減少しました。同じ期間に、世帯当たり人員は2.73人から1.91人に減少しており、世帯規模が次第に小さくなってきていることがわかります。

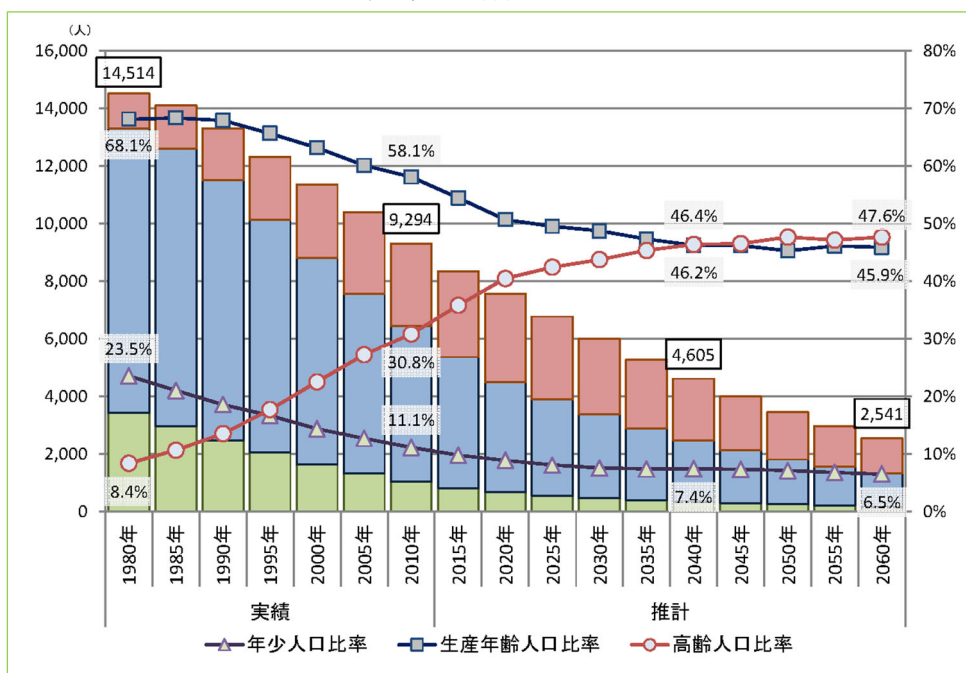
白糠町 世帯数の推移



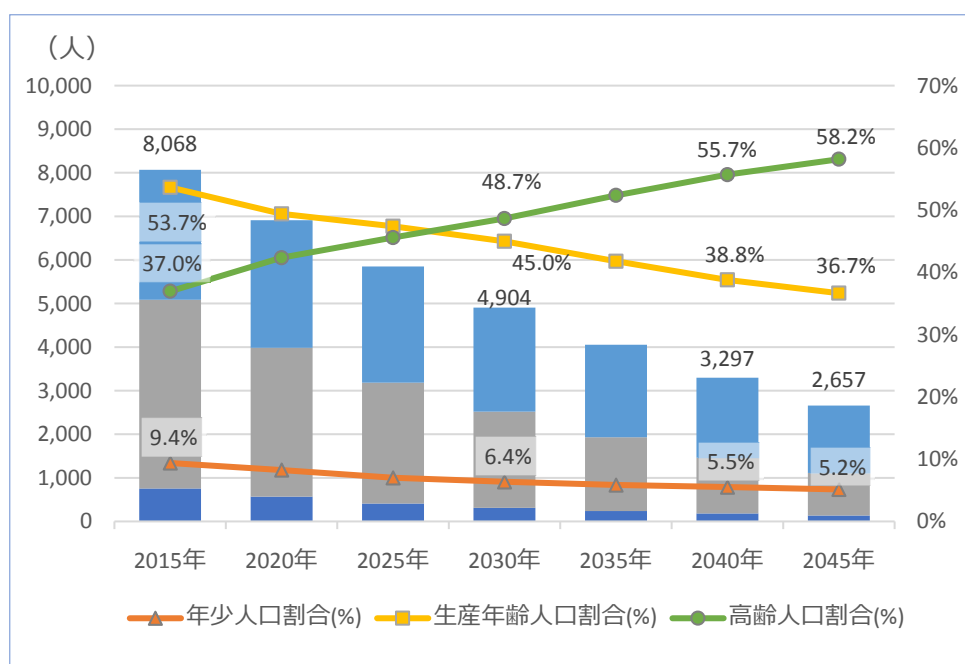
(3) 将来人口の展望

白糠町人口ビジョンによると、本町の様々な施策と人口対策を効果的かつ一体的に行うことにより、出生率が2040年に「1.8」、2060年に「2.07」へ上昇し、高齢化率も2025年に39.5%のピークを迎えたあと、2060年には32.7%になり、総人口が、2040年に6,600人、2060年には5,300人を維持することが可能になることが想定されますが、人口対策を特段の施策を講じない場合は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値の総人口が、2030年に4,904人、2045年においては2,657人と想定されています。

人口の将来展望（年齢3区分別人口及び割合）



資料：白糠町人口ビジョン（H27）



資料：国立社会保障・人口問題研究所

3-2 土地利用等の現況

(1) 地目別土地利用現況

本町の総面積 773.13 k m²のうち、その他（地番表示のない国有林、道有林などの森林約 400 k m²を含む。）が約 58%を占め、次いで山林が約 28%となっており、町域の大半を森林が占めています。

	畑	宅地	山林	牧場	原野	雑種地	その他	総面積
面積 (k m ²)	38.99	5.67	214.61	37.66	17.48	7.95	450.78	773.13
構成比 (%)	5.0	0.7	27.8	4.9	2.3	1.0	58.3	100.0

資料：北海道統計書（H31）

(2) 5地域及び都市計画区域

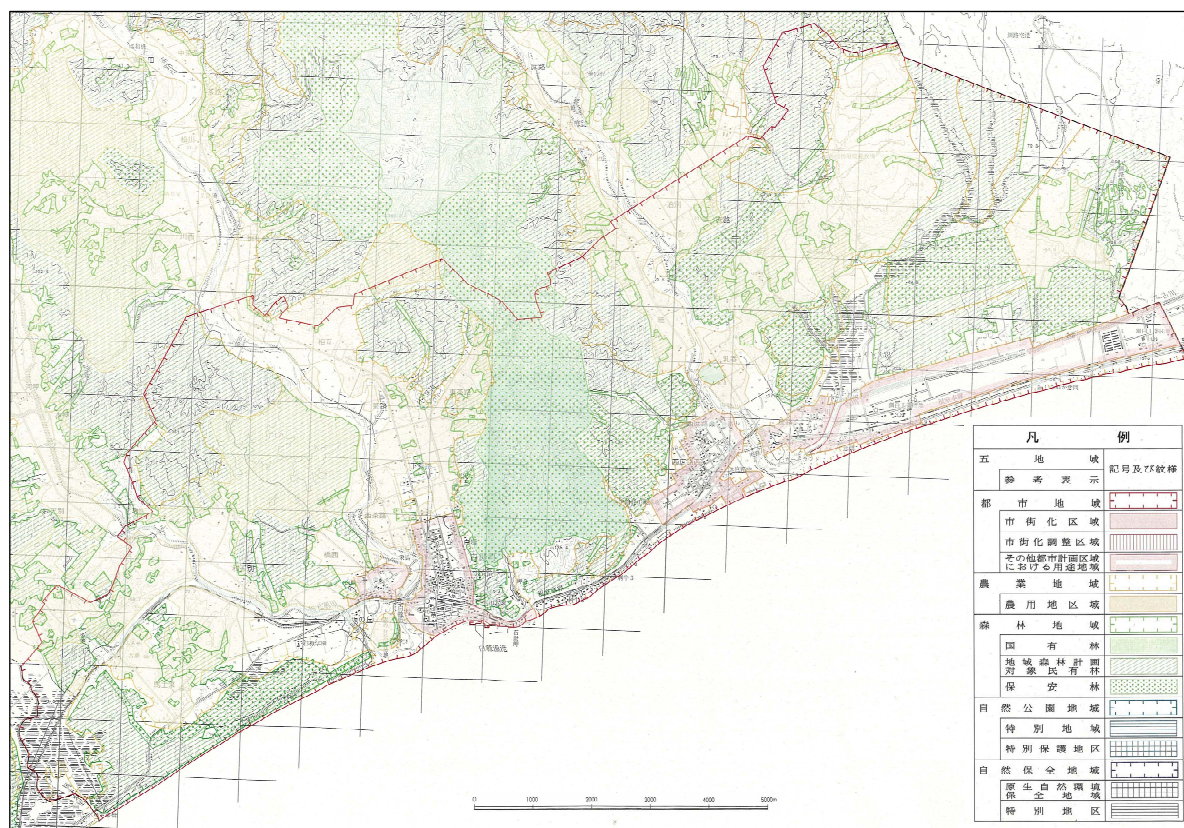
本町の都市地域は都市計画区域に相当しますが、都市計画区域は、昭和 27 年に当初決定され、その後昭和 49 年に見直され現在の区域となっています。農業地域は、市街地を除いて、都市計画区域内の約 60%に広がり、森林地域との重なりも多く見られます。森林地域は、都市計画区域内では約 52%です。

【都市計画区域内の 5 地域の指定状況】

区 分	面積 (ha)	構成比 (%)	指定年月日
都 市 地 域	11,019	100.0	昭和 49 年 4 月 30 日
用 途 地 域	899.5	8.2	平成 15 年 4 月 10 日
農 業 地 域	6,603※	60.4	平成 14 年 3 月 31 日
農 用 地 区 域	3,198※	29.2	平成 14 年 3 月 31 日
森 林 地 域	5,703※	52.2	平成 14 年 3 月 31 日
国 有 林	806※	7.4	平成 14 年 3 月 31 日
地域森林計画対象民	4,897※	44.8	平成 14 年 3 月 31 日
保 安 林	1,789※	16.4	平成 14 年 3 月 31 日

※都市計画区域内 C A D 求積

【5 地域区分図】



※ 5 地域とは、国土利用計画法に基づき日本の国土を5種類（都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域）に分類したもので、本町では都市地域、農業地域、森林地域の3種類が該当しています。

(3) 用途地域等

本町の用途地域は昭和 49 年に当初決定され、昭和 53 年、平成元年に見直され、その後平成 7 年に新法に移行、平成 16 年の建築基準法の改正を経て現在に至っています。

【用途地域の指定状況】

種 別		面積 (ha)	建築の延べ 面積の敷地 面積に対する 割合	建物の建築 面積の敷地 面積に対する 割合	構成比 (%)	備考
住 居 系 地 域	第 1 種低層住居専用地域	5.7	8/10 以下	5/10 以下	0.6	
	第 1 種中高層住居専用地域	135.0	15/10 以下	6/10 以下	15.0	
	第 2 種中高層住居専用地域	109.0	20/10 以下	6/10 以下	12.1	
	第 1 種 住 居 地 域	71.0	20/10 以下	6/10 以下	7.9	
	第 2 種 住 居 地 域	6.1	20/10 以下	6/10 以下	0.7	
	準 住 居 地 域	7.2	20/10 以下	6/10 以下	0.8	
	小 計	334.0	—	—	37.1	
地 商 業 系	近 隣 商 業 地 域	2.0	20/10 以下	8/10 以下	0.2	準防火地域
	商 業 地 域	8.5	40/10 以下	8/10 以下	1.0	準防火地域
	小 計	10.5	—	—	1.2	
地 工 業 系	準 工 業 地 域	92.0	20/10 以下	6/10 以下	10.2	
	工 業 地 域	463.0	20/10 以下	6/10 以下	51.5	
	小 計	555.0	—	—	61.7	
合 計		899.5	—	—	100.0	

- ・本町は釧路白糠工業団地（通称：釧白工業団地）を有していることから、工業系用途が最も多く 61.7%、次いで住居系 37.1%、商業系 1.2%となっています。準防火地域については昭和 49 年に用途地域の近隣商業地域と商業地域が指定されています。

また、用途地域の準工業地域と工業地域には、特別用途地区の特別工業地区が指定されており、建築物の制限がされています。

【特別用途地区の指定状況】

地 区 種 別	面積 (ha)		基本用途	主な規制建築物	指定年月日
特別工業地区	第 1 種	27.0	工 業 地 域	一般住宅、共同住宅 店舗、図書館 遊技場、娯楽施設 準工業地域規制建築物、 商業地域規制建築物の一部	平成元年 6 月 1 日
	第 2 種	347.0	工 業 地 域	一般住宅、共同住宅 図書館、遊技場 娯楽施設、公衆浴場 危険物施設	平成元年 6 月 1 日
	第 3 種	23.0	準工業地域	風俗営業施設、 公害のおそれのある工場	平成 7 年 6 月 30 日

第2章 白 糠 町 の 現 況

3-3 都市計画施設等の現況

(1) 都市計画道路

都市計画道路は 13 路線が計画決定されています。

道路番号	道路名称	幅員 (m)	国道 (m)	道道 (m)	町道 (m)	延長 (m)	整備率 (%)	摘 要
3・2・1	庶 路 大 通	30	3,630			3,630	0.0	国道 38 号
3・4・2	駅 前 通	20		100	190	290	100.0	
3・4・3	大 通	18	3,240			3,240	58.6	国道 38 号
3・4・4	中 央 通	16	1,550		320	1,870	17.1	国道 392 号
3・4・5	栄 橋 通	14.5~26.5			2,200	2,200	7.3	
3・4・6	公 園 通	16~26.5			2,290	2,290	0.0	
3・4・7	若 葉 通	16			540	540	0.0	
3・4・8	下 庶 路 通	16~22			650	650	0.0	
3・4・9	明 治 通	16~23			1,330	1,330	100.0	
3・4・10	宮 下 通	16~26.5			600	600	0.0	
3・4・12	コ イ ト イ 通	16~26.5			600	600	0.0	
3・4・13	庶路大楽毛通	15.5~18			7,950	7,950	0.0	
3・5・11	海 岸 通	12			1,170	1,170	0.0	

(2) 公園

都市計画公園は、近隣公園 2 箇所、街区公園 13 箇所が計画決定されており、逍遙公園以外は全て供用済みとなっています。また、都市公園としては、住区基幹公園 9 箇所、特殊公園 1 箇所が指定されています。

番 号	公 園 名 称	種 別	計画決定面積 (ha)	供用面積 (ha)	計 画 決 定 年 月 日
3・3・1	逍 遙 公 園	近隣公園	3.30	2.90	昭和 56 年 5 月 25 日
3・3・2	ふ れ あ い 公 園	近隣公園	3.30	3.30	昭和 63 年 12 月 19 日
2・2・1	あ や め が 丘 公 園	街区公園	0.41	0.41	昭和 48 年 3 月 8 日
2・2・2	春 日 公 園	街区公園	0.18	0.18	昭和 48 年 3 月 8 日
2・2・3	新 栄 公 園	街区公園	0.46	0.46	昭和 48 年 3 月 8 日
2・2・4	西 庶 路 錦 公 園	街区公園	0.32	0.32	昭和 48 年 3 月 8 日
2・2・5	庶 路 公 園	街区公園	0.13	0.13	昭和 50 年 12 月 5 日
2・2・6	橋 北 公 園	街区公園	0.12	0.12	昭和 51 年 12 月 20 日
2・2・7	鉄 北 公 園	街区公園	0.13	0.13	昭和 51 年 12 月 20 日
2・2・8	日 の 出 公 園	街区公園	0.34	0.34	昭和 51 年 12 月 20 日
2・2・9	幸 公 園	街区公園	0.32	0.32	昭和 51 年 12 月 20 日
2・2・10	ひ ま わ り 公 園	街区公園	0.17	0.17	昭和 56 年 4 月 23 日
2・2・11	な か よ し 公 園	街区公園	0.19	0.19	昭和 56 年 10 月 7 日
2・2・12	千 鳥 公 園	街区公園	0.12	0.12	昭和 57 年 9 月 6 日
2・2・13	宮 下 公 園	街区公園	0.17	0.17	昭和 58 年 11 月 11 日

【都市公園の指定状況】

公 園 名 称	種 別	面 積 (ha)	供 用 開 始 年 月 日
庶 路 ス ポ ー ツ 公 園	住区基幹公園	1.90	昭和 53 年 3 月 20 日
堤 内 ス ポ ー ツ 公 園	住区基幹公園	1.90	平成 10 年 5 月 6 日
な ん ぎ さ 公 園	住区基幹公園	0.24	平成 1 年 3 月 15 日
か え る 公 園	住区基幹公園	0.06	平成 7 年 4 月 1 日
西 茶 路 さ く ら 公 園	住区基幹公園	0.28	平成 4 年 4 月 1 日
青 空 公 園	住区基幹公園	0.09	平成 1 年 10 月 20 日
町 民 広 場	住区基幹公園	2.58	昭和 57 年 4 月 1 日
コ ミ ュ ニ テ ィ 広 場	住区基幹公園	0.06	昭和 60 年 4 月 1 日
岬 の 森 東 山 公 園	特殊公園	39.84	平成 17 年 3 月 1 日
恋 問 自 然 観 察 公 園	住区基幹公園	21.52	平成 12 年 3 月 29 日

(3) 墓園

墓園は1箇所決定されており、供用面積は平成17年3月31日現在で6.6haとなっています。

名 称	計 画		供 用		備 考
	箇所	面積	箇所	面積	
坂の丘公苑墓地	1	9.8ha	1	6.6ha	平成17年3月31日

(4) ごみ焼却場

ごみ焼却場は、平成6年10月12日に決定され、供用されています。

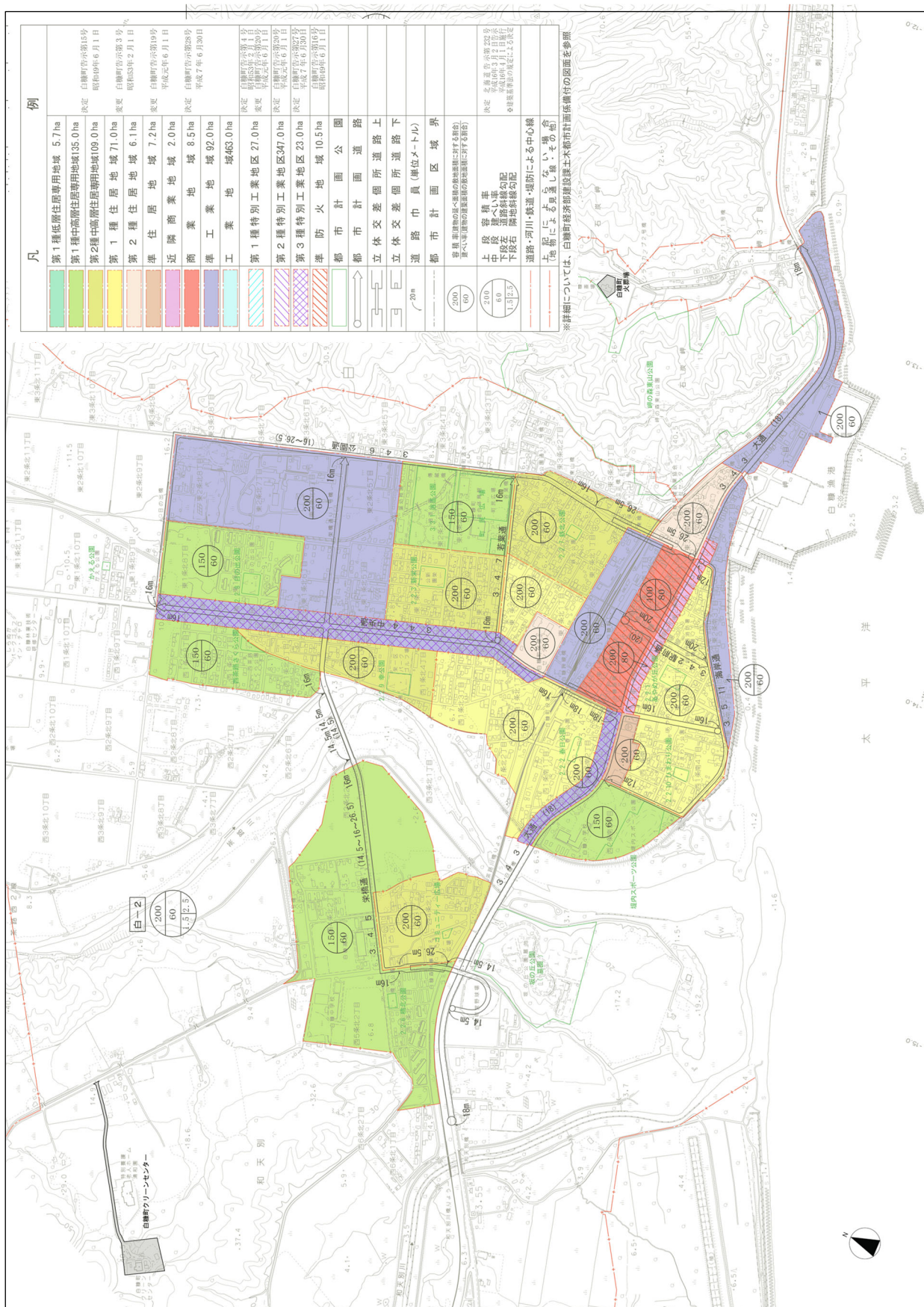
名称（施行者）	計 画		供 用		指 定 年 月 日
	箇 所	面 積	箇 所	面 積	
白糠町クリーンセンター （白糠町）	1	2.4ha	1	2.4ha	平成6年10月12日

(5) 火葬場

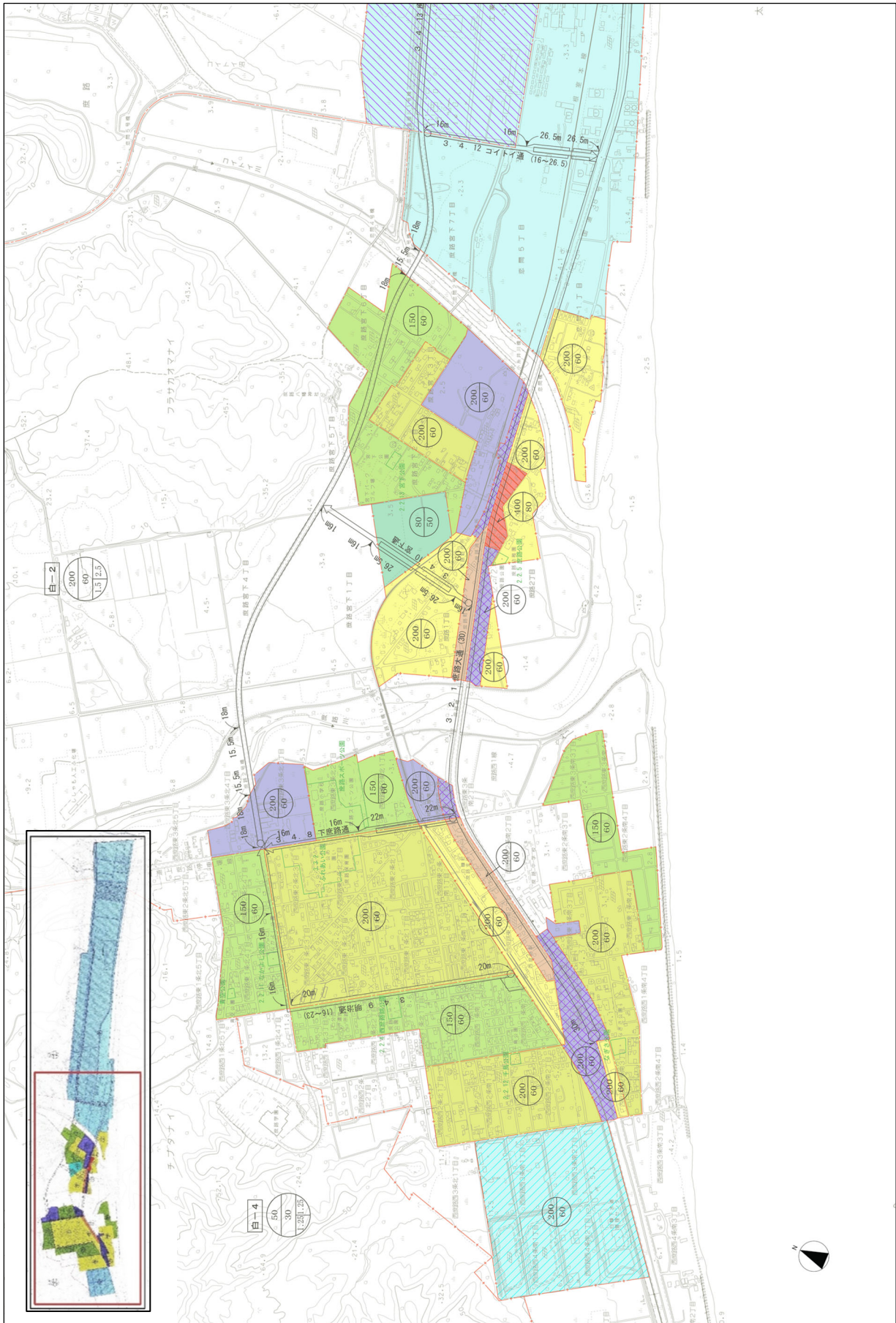
火葬場は、昭和61年7月2日に決定され、供用されています。

名称（施行者）	計 画		供 用		指 定 年 月 日
	箇 所	面 積	箇 所	面 積	
白糠町火葬場（白糠町）	1	0.3ha	1	0.3ha	昭和61年7月2日

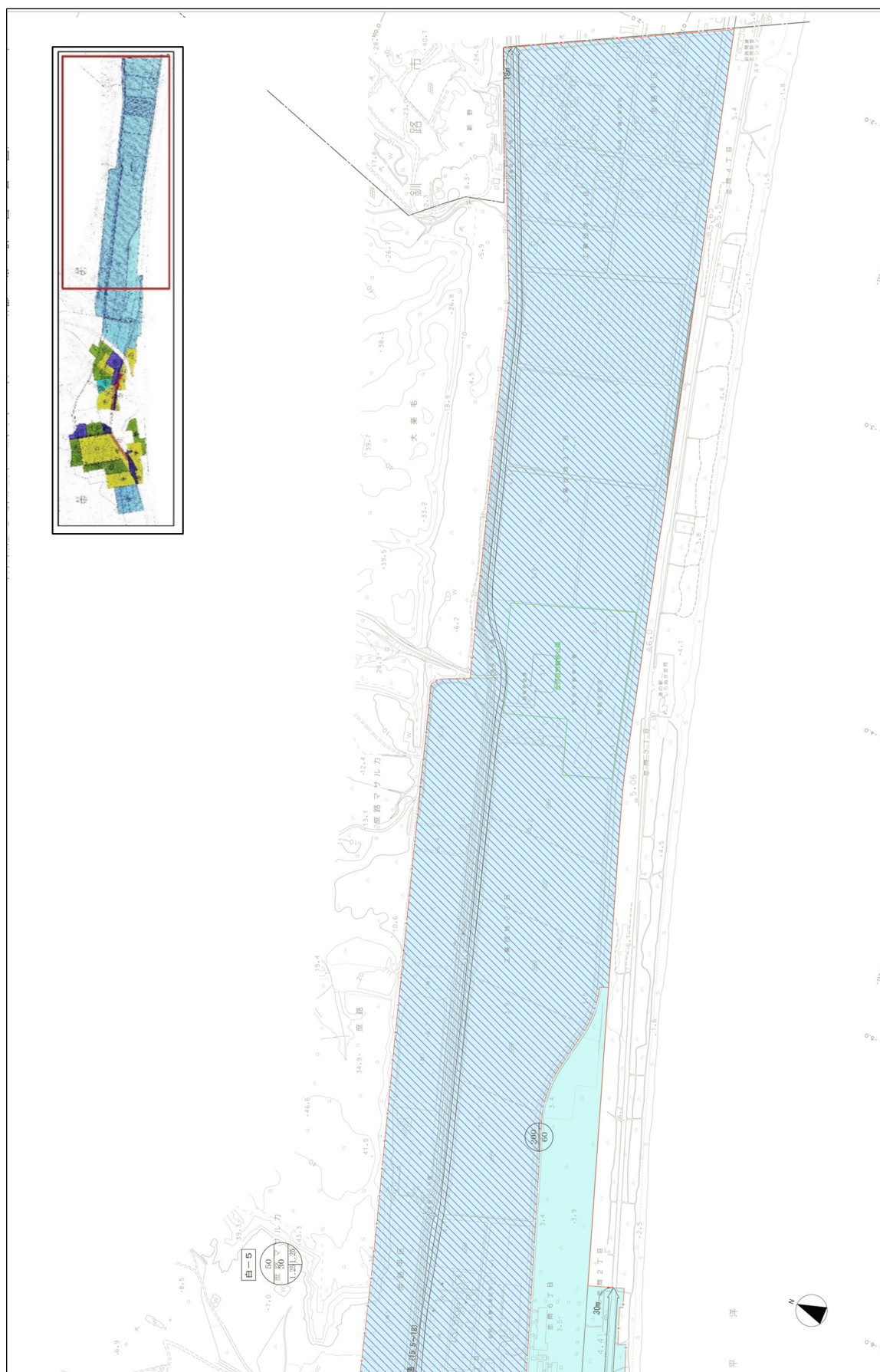
【都市計画図：白糠地区】



【都市計画図：庶路・西庶路地区】



【都市計画図：恋間地区】



(6) 公共下水道

下水道は、公共下水道が平成6年9月27日に決定されています。また、供用面積は平成31年3月31日現在で262.37haとなっています。

計 画						供 用					
排水 区域 (ha)	管渠 延長 (m)	ポンプ場		処理場		排水 区域 (ha)	管渠 延長 (m)	ポンプ場		処理場	
		箇所	面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)			箇所	面積 (㎡)	箇所	面積 (㎡)
490	1	1	450	1	31,000	262.37	1			1	10,000

【公共下水道事業計画一般図】

